

事件事例

事故者は、初心者であり、インフレーターボード（サイズ10.8'×33"×6"）にて出艇後に落水。カヌー用ライフジャケットを着用していたが誤った装着方法により、ボードに上がれず写真のような状態で漂流していたもの。

気象：晴、オンショア（海から陸の風）3m、波浪30cm、うねり50cm※写真は再現であり、ボードのサイズは長さ12.6'×27"×6"

ライフジャケットのベルトを締めていないことからライフジャケットが浮力で浮いてしまい、上がる時に障害となっている状態。



ベルトを締めていないとライフジャケットが顔面が隠れるほど浮いてしまい、姿勢が不安定な状態となる。

【ワンポイント】

インフレーターボードはハードボードに比べると、厚みがあるので風を受けやすいのが特徴（風圧面積が大きい）事件事例の条件でも十分風に流される。

対策

ライフジャケットに着いている各ベルトを体にフィットするまで締めること。
締める順番は、チャックを締めた後、「下（ウエストベルト）から上（肩ベルト）」へ。



チャックにズレ防止のストッパーがあるものはストッパーをかける

サイドベルト



ウエストベルト



肩ベルト



ウエストベルトの比較



緩い状態



締めた状態

対策後

姿勢が安定し、動きやすい状態となり、ボードも引き寄せやすい。



ライフジャケットが体にフィットしているので動きやすい。（事件事例のように障害となっていない）



【ワンポイント】

ボードに乗りやすい場所は、立つ場所と同じ、中央付近（ボードの重心）である。

ボードにスムーズに上がれる。



作成：海上保安庁交通部安全対策課

海上保安庁警備救難部救難課

協力：一般社団法人 日本セーフティ

カヌーイング協会